

平成21年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

福祉保健課（内線：7142）

1目 社会福祉総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
心のバリアフリー推進事業	123,256	155,972	△32,716			(貸付金元利収入) 116,058	7,198	
トータルコスト	134,027千円（前年度165,944千円）							
従事する職員数	正職員：1.3人							
主な業務内容	利用証作成、制度周知、普及啓発に係る各種広報物等作成、懇話会・協議会の開催							

説明

1 事業の目的

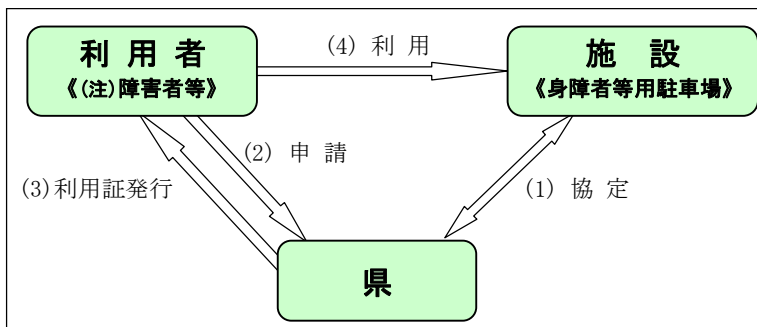
バリアフリー精神の県民一人一人への浸透を図り、高齢者・障害者等への理解と支援を深め、誰もが住みよいまちづくりを推進する。  
特に、21年度は、公共的施設の身体障害者等用駐車場について 県内共通の利用証を発行し、身体障害者等用駐車場の適正利用を図る。

2 事業の内容

（単位：千円）

項目	内容	金額
【新規】 みんなにやさしい 駐車スペース利用 証制度（仮称）	公共的施設の身体障害者等用駐車場について県内共通の利用証を発行し、身体障害者等用駐車場の適正利用を図る。 ※制度導入は平成21年10月を目処に準備を進める。 ・利用証の作成、配布 ・協定施設用ステッカーの作成、配布 ・制度周知用チラシの作成、配布	3,373

<制度の概要図>



<利用証の例>



(注)身体障害者、高齢者、けが人、妊産婦等で歩行が困難な方。

普及啓発	・啓発パンフレット、ポスターの作成 ・小学生向け冊子の作成 ・福祉のまちづくり施設基準適合証の交付	2,241
推進体制整備	・福祉のまちづくり推進協議会の実施等 ・福祉のまちづくり地区懇話会(東部・中部・西部)の実施等	1,584
民間施設の整備支援	民間施設整備に係る金融機関への預託 新規貸付廃止以前に行われた貸付けに係る県の金融機関に対する預託等に要する経費 ※平成17年度をもって新規貸付は廃止。 ※上記預託については、平成27年度に終了予定	116,058
合 計		123,256